

IV 事業概要

4 連携事業

(1) 共催事業

② きのこと展

(ア) 期 間 令和元年9月28日(土)～9月29日(日)

(イ) 会 場 仙台市科学館3Fエントランスホール

(ウ) 目 的

宮城県内に生育するキノコの実物を鑑賞する場を市民に提供し、キノコの分類に関する知識を広めることを目的とする。

(エ) 展示内容

仙台周辺の自生のキノコ類を対象として採集した自生キノコを、科や属ごとに分類、整理して展示した。展示に関しては、キノコの鮮度を保つように常に展示の入れ替えを行った。種名・属名・科名の名札を作成し、説明を行う解説員をおいた。

会場の運営にあたっては、仙台キノコ同好会の会員が常駐し、展示の説明・会場整理、キノコの鑑定にあたった。

市民の関心が高いキノコの放射線値について、東北大学と協力して調査している情報を開示した。東北大学木野康志氏による放射線値に関する講演会を行った。

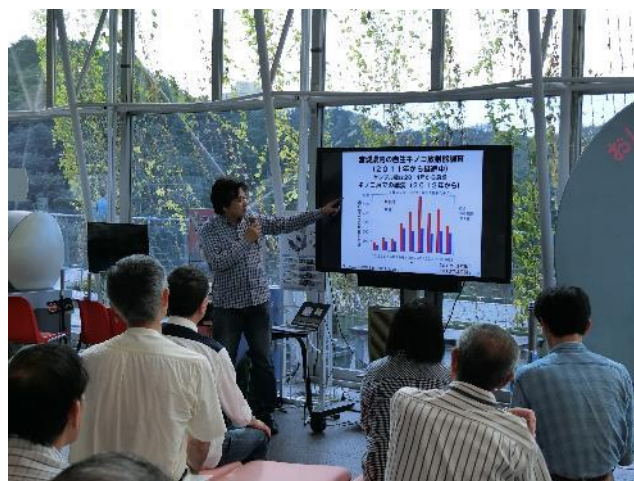
- ・キノコ生体の展示
- ・栽培キノコの展示
- ・キノコの鑑定会
- ・光るキノココーナー
- ・キノコのVTR放映
- ・キノコ写真の展示
- ・キッズコーナー



会場の様子

(オ) 実 績

夏の残暑の影響でキノコの発生が遅れの状況でしたが、会員の方の精力的な採集により採集キノコ254種、栽培キノコ12種、計266種となり、昨年とほぼ同程度の展示数となった。市民の鑑定、相談件数は35件と、キノコの発生が遅れた影響からか、昨年を下回った。最近の傾向として、子ども、若い家族、キノコ女子の来場者が目立つが、今年もその傾向が強まり、メモをとったり、カメラで撮影したりと、熱心な来場者が多かった。入場者数は2日間で1,619名であった。木野准教授による講演会にも、活発な質問が出され、キノコと放射能に関する情報提供が効果的に行われた。



講演会の様子